

2015年2月期第2四半期 決算説明会



2014年 10月8日

J.フロント リテイリング株式会社

代表取締役社長
山本 良一



J. FRONT RETAILING

本日の内容

- I. 2014年度上期 業績概要
- II. 2014年度下期・通期 業績予想
- III. 2014~16年度 中期経営計画の状況

2014年度上期 業績概要

- ▶ 営業利益、経常利益ともにJ.フロントリテイリング設立以来の最高益を更新。
- ▶ 期初予想に対し、売上未達も営業利益、経常利益、純利益ともに上振れ。
- ▶ 中間配当は前年度から1円増配となる1株当り6円(株式併合前基準※)。

(単位:百万円)

2015年2月期 第2四半期	実績	対前年		対期初予想	
		増減高	増減率 (%)	増減高	増減率 (%)
売上高	557,625	△1,068	△0.2	△4,375	△0.8
営業利益	18,406	481	2.7	1,006	5.8
経常利益	17,909	1,016	6.0	1,709	10.6
純利益	7,801	△12,663	△61.9	1,201	18.2

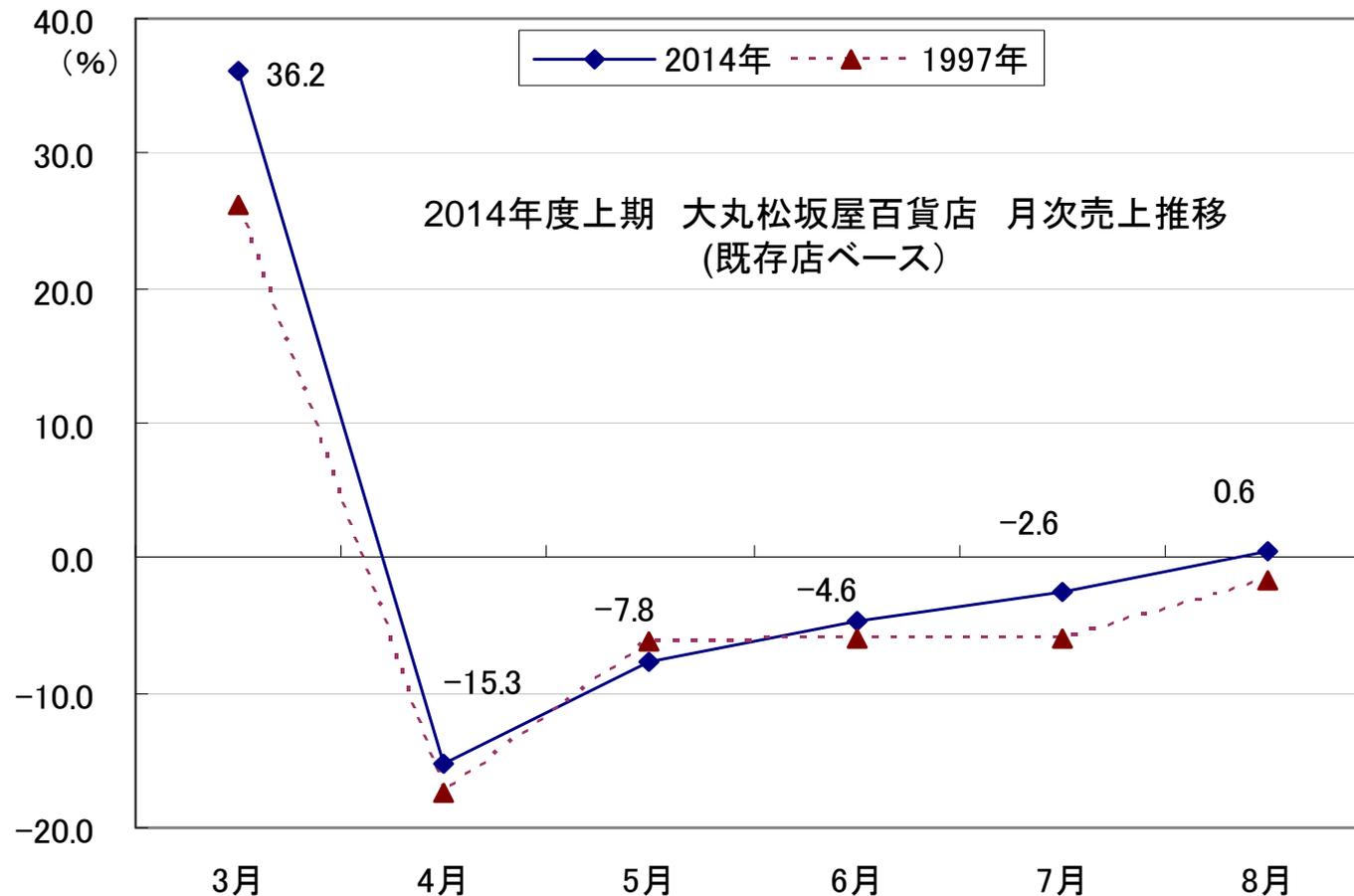
※2014年9月1日付けで普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施。

- ▶ 百貨店事業は前年銀座店営業終了影響等で減収も、コスト管理徹底で増益
- ▶ パルコ事業は店舗改装効果やゼロゲート事業の寄与により増収・増益
- ▶ その他事業はフォーレスト連結により増収も、建装事業の不調等で減益

(単位:百万円)

2015年2月期 第2四半期	売上高				営業利益			
	実績	対前年 増減率 (%)	対期初予想		実績	対前年 増減率 (%)	対期初予想	
			増減高	増減率 (%)			増減高	増減率 (%)
百貨店事業	368,373	△1.5	3,673	1.0	8,706	0.2	706	8.8
パルコ事業	133,165	1.5	△1,035	△0.8	6,192	5.9	192	3.2
卸売事業	28,321	△9.2	△4,479	△13.7	506	△9.4	△94	△15.7
クレジット事業	5,230	19.7	230	4.6	1,791	23.4	101	6.0
その他事業	48,088	9.5	△3,712	△7.2	1,225	△20.5	55	4.8

- ▶ 3月は消費増税前の駆け込み需要を最大化すべく実施した売上強化策が奏功
- ▶ 4月以降は訪日観光客の免税売上拡大や外商活動強化が下支え
- ▶ 6、7月は天候不順で想定下回るも、8月は単月でプラスに浮上



- ▶ 梅田、東京、京都、神戸、札幌、名古屋、静岡の主要7店舗が前年をクリア
- ▶ 東京店は集客力が一層高まり、5月以降プラスに転換して推移
- ▶ 京都店は食品改装や東急ハンズ導入効果を発揮、名古屋は特選、食品好調

(単位:百万円)

2015年2月期 第2四半期	実績	対前年		対期初予想	
		増減高	増減率 (%)	増減高	増減率 (%)
売上高(全店)	325,626	△5,012	△1.5	4,526	1.4
" (既存店※)	—	4,541	1.4	—	—
販売管理費	69,570	△1,911	△2.7	△330	△0.5
営業利益	7,574	47	0.6	774	11.4
経常利益	7,282	594	8.9	1,182	19.4
純利益	3,869	3,441	802.7	1,169	43.3

※既存店は、銀座店を除く

パルコとの共同取り組み

- ▶ 婦人服で2つのエクスクルーシブブランド「ソフィラ」「エディ・グレース」を開発
- ▶ 名古屋地区でクリアランスセールを同時開催・共同販促
- ▶ パルコのコミュニティ型店舗での複数催事を大丸松坂屋百貨店が企画運営



sophila



EDDY GRACE

大丸松坂屋百貨店の主な取り組み

要員構造改革などによる人件費構造の見直し

設備投資に関連するコスト削減

販促の見直しによる広告宣伝費の圧縮

減収にもかかわらず、徹底したコスト管理が営業増益に寄与

2014年度 下期・通期業績予想

2014年度 下期・通期連結業績見通し

- ▶ 個人消費も緩やかな回復基調も、天候に大きく左右されるなど一部に弱さ
- ▶ 物価上昇の影響や地方景気の動向など予断を許さない状況とも認識
- ▶ 期初予想どおり営業利益、経常利益ともJフロント設立以来の最高益更新へ
- ▶ 予想ROE5.1%、期末配当は株式併合後1株当たり12円を予定(※)

(単位:百万円)

2015年 2月期	下期 予想	対前年		通期 予想	対前年		対期初予想	
		増減高	増減率 (%)		増減高	増減率 (%)	増減高	増減率 (%)
売上高	603,374	15,749	2.7	1,161,000	14,681	1.3	△11,000	△0.9
販売管理費	103,427	2,208	2.2	204,000	1,687	0.8	△2,600	△1.3
営業利益	24,593	702	2.9	43,000	1,184	2.8	0	—
経常利益	23,090	△519	△2.2	41,000	498	1.2	0	—
純利益	11,198	94	0.8	19,000	△12,568	△39.8	0	—

※2014年9月1日付けで普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施。

2014年度通期 セグメント情報

- ▶ 百貨店事業は売上を慎重に見直すも、営業利益は期初予想を据え置き
- ▶ パルコ事業はコストを精査することにより、営業利益を増額修正
- ▶ 卸売事業は上期傾向を踏まえ厳しさを予想も、その他の事業で不足をカバー

(単位:百万円)

2015年2月期	売上高				営業利益			
	通期 予想	対前年 増減率 (%)	対期初予想		通期 予想	対前年 増減率 (%)	対期初予想	
			増減高	増減率 (%)			増減高	増減率 (%)
百貨店事業	765,400	△0.5	△1,200	△0.2	24,000	4.4	0	—
パルコ事業	276,300	3.0	△1,000	△0.4	12,150	1.1	100	0.8
卸売事業	62,200	△1.7	△5,000	△7.4	1,100	△2.4	△100	△8.3
クレジット事業	10,330	9.4	230	2.3	3,410	7.0	40	1.2
その他事業	98,600	11.3	△5,500	△5.3	2,440	△17.6	60	2.5

前年度終盤に始まっていた駆け込み需要、上野店南館閉鎖影響などを慎重に再考

下期増収・増益に向けた売上強化策とともにコスト管理を一層徹底

＜おもな収益強化策＞

外商カード開拓・新規催事企画など外商活動の強化

インバウンド取り組み強化に向けた環境整備・販促実施

楽天Rポイントカードとの連携による顧客基盤の拡大

戦略商品投入による自主事業の強化

(単位:百万円)

2015年 2月期	下期 予想	対前年		通期 予想	対前年		対期初予想	
		増減高	増減率 (%)		増減高	増減率 (%)	増減高	増減率 (%)
売上高	349,473	1,826	0.5	675,100	△3,186	△0.5	0	—
販売管理費	69,429	△844	△1.2	139,000	△2,755	△1.9	△1,300	△0.9
営業利益	13,125	995	8.2	20,700	1,042	5.3	100	0.5
経常利益	11,317	△2	△0.0	18,600	592	3.3	100	0.5
純利益	6,230	△849	△12.0	10,100	2,592	34.5	300	3.1

成長加速に向けた「福岡パルコ新館」「名古屋ゼロゲート」が今下期オープン



福岡パルコ新館

- ・開 店:11月13日(木)
- ・建物規模:地上6階、地下2階
- ・延床面積:約14,000m²

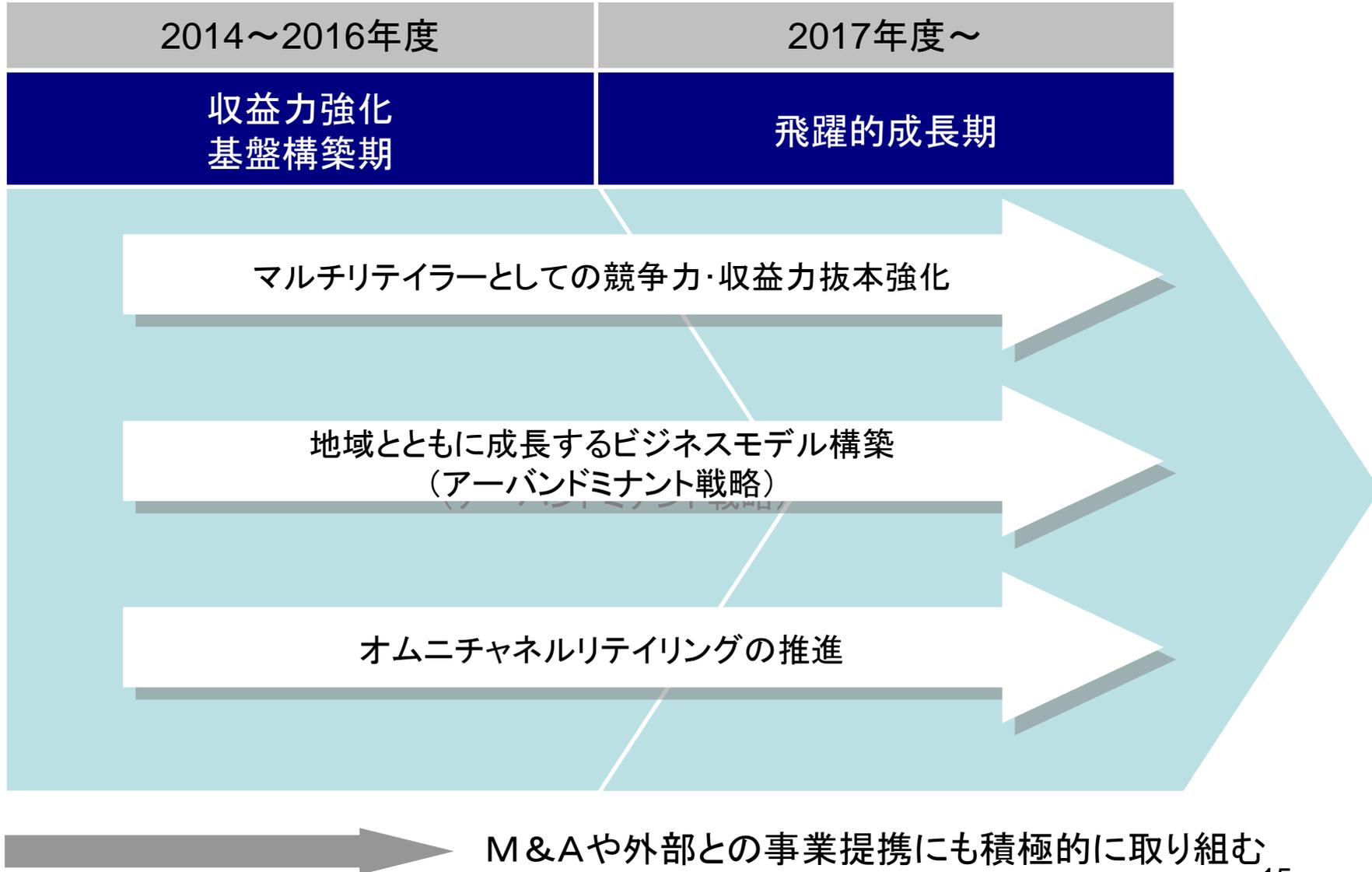


名古屋ゼロゲート

- ・開 店:10月10日(金)
- ・建物規模:地上3階
- ・延床面積:約7,500m²

2014～2016年度 中期経営計画の状況

2014～2016年度の位置づけ



マルチリテ일러としての取り組み



これまでの百貨店の枠を超えた
幅広いお客様に支持される店舗と高効率な経営体制の構築

マーケット変化への適合

店舗ごとのポジショニングの明確化

地域ごとの店舗戦略の立案と実行

重点強化店舗の設定

東京店



神戸店



札幌店



名古屋店



重点店舗への取り組みポイント

名古屋店



- ・北館・南館のあり方を抜本的に見直し
- ・要員構造の見直しによる高効率経営体制構築

東京店



- ・周辺地区人口増
- ・「上野東京ライン」乗入れによる東京駅利用者数増
- ・外商顧客開拓強化

札幌店



- ・富裕層マーケット対応のブランド導入・売場拡張
- ・外商顧客開拓強化

神戸店



- ・ニューリッチ層対応強化の紳士・時計売場大幅改装
- ・周辺店舗のS&B推進

自主事業の抜本的な再構築への取り組み



<取り組みのポイント>

商品企画力・在庫管理能力・販売力の強化

商品管理システムの刷新

完全買取商品の拡大・独自商品の開発

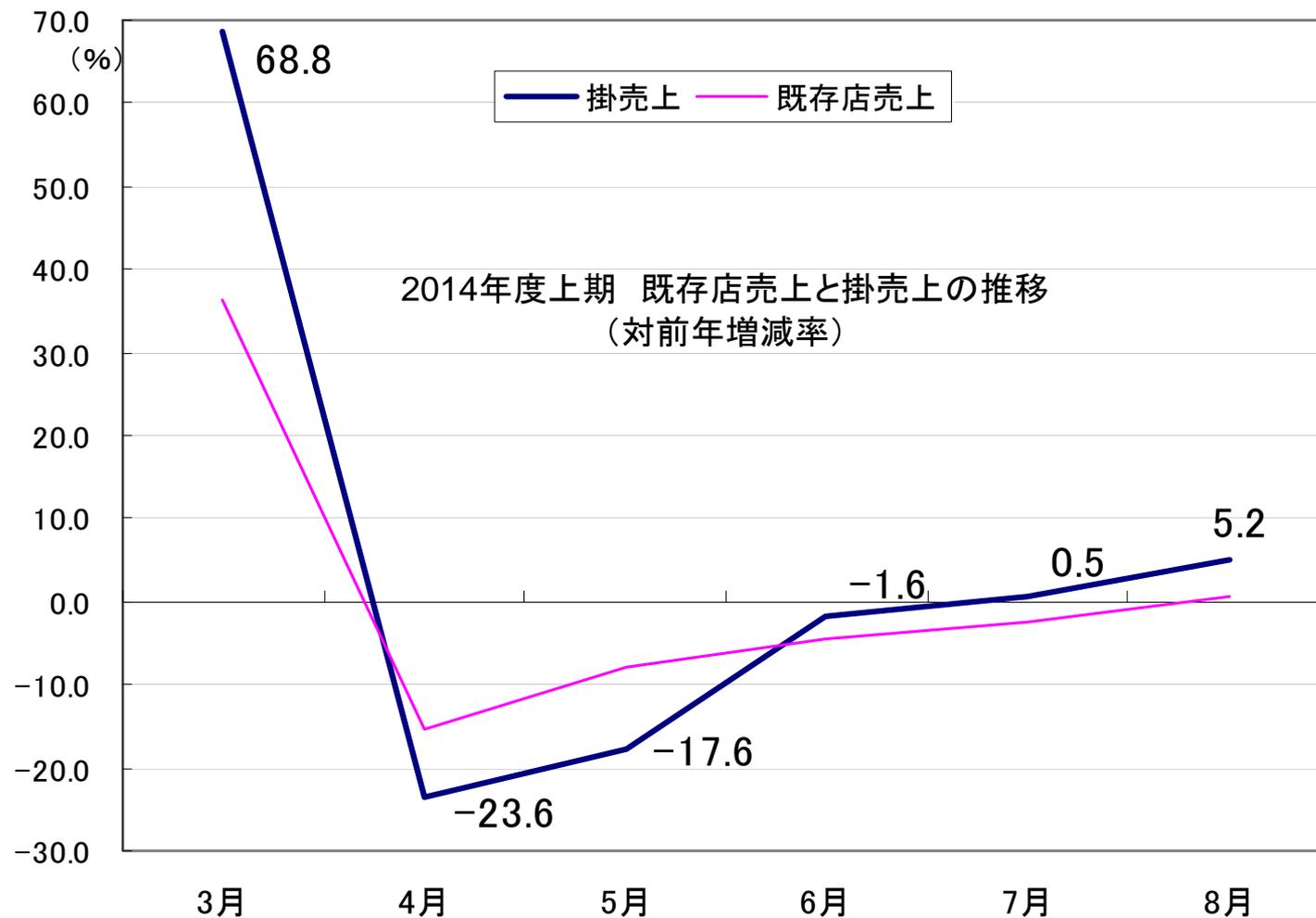
高益率「戦略商品」構成比の拡大

富裕層向け「婦人靴売場」展開

訪日外国人向け「雑貨売場」構築

2016年度 自主事業売上高目標540億円

- ▶ 2014年上期は消費増税前の販促強化やカード開拓効果により対前年2.8%増
- ▶ 月を追うごとに外商売上の回復の速さが顕著となり、百貨店売上全体を牽引



顧客基盤の拡大

- ・外商カードの「クレジット化」による新規口座開拓強化



【クレジットカード化の狙い】

- ・お客様の利便性向上
- ・審査能力の抜本的向上
- ・新規顧客獲得の組織的推進

2014年度上期も想定を上回る進捗で口座開拓
新規開拓口座の稼動により、43億円の売上

→年間目標12,000口座に上方修正

営業力の強化

- ・ラグジュアリーブランドとの関係強化による商品確保・新規催事開催
- ・富裕層のニーズ変化に対応した、商品・サービスを含めた幅広い価値を提供

- ▶ 2014年度上期免税売上高実績対前年42%増(既存店ベース)
- ▶ 2014年10月から「化粧品」・「食品」が免税対象品目に



店舗環境の整備



免税カウンターの増設・拡大、通訳の増員、フリーWi-Fiの導入

販促活動の強化



海外現地旅行社に対する営業活動や海外旅行博への出展

社内組織の強化

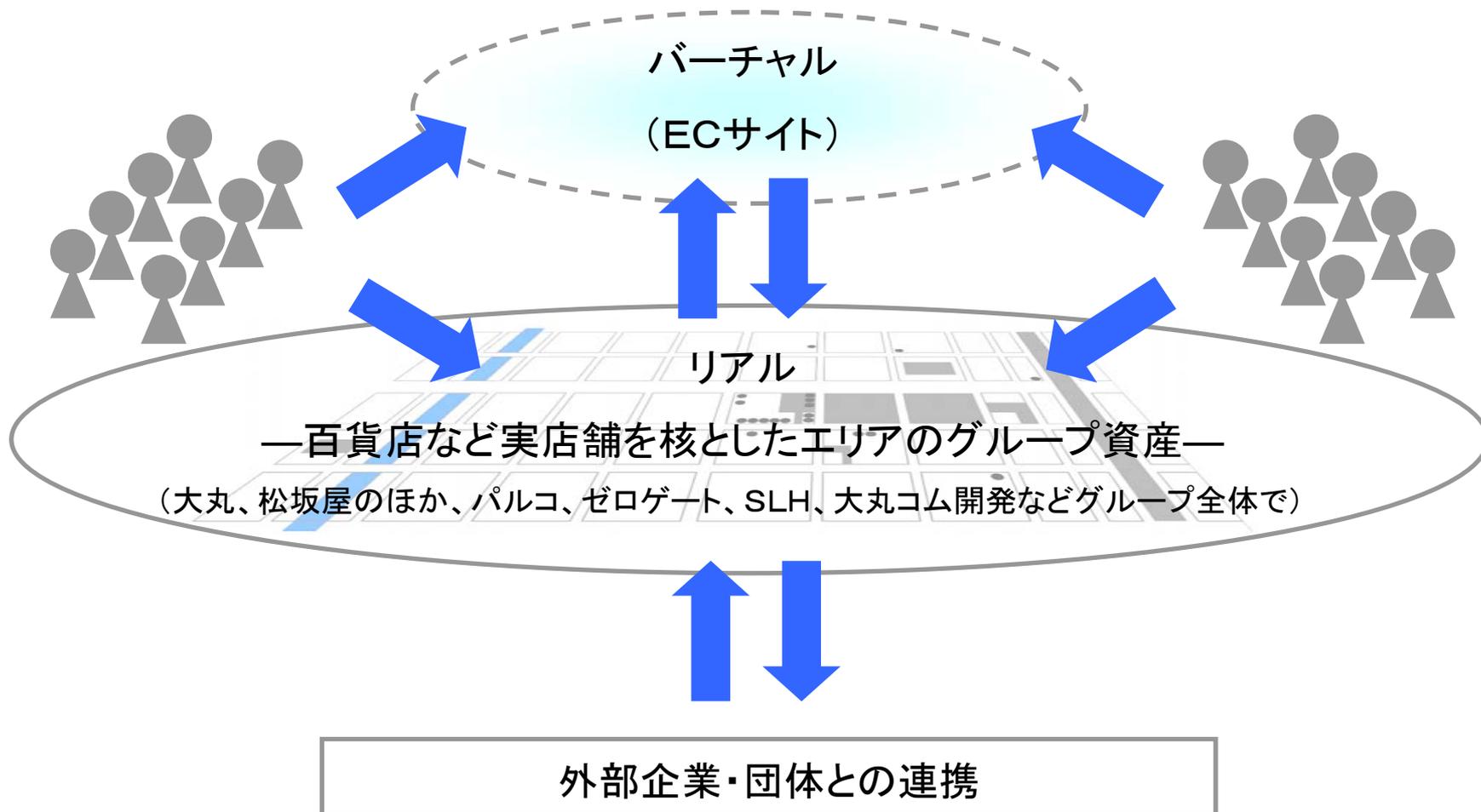


14年下期から商品部に新たに「インバウンド事業推進担当」を設置



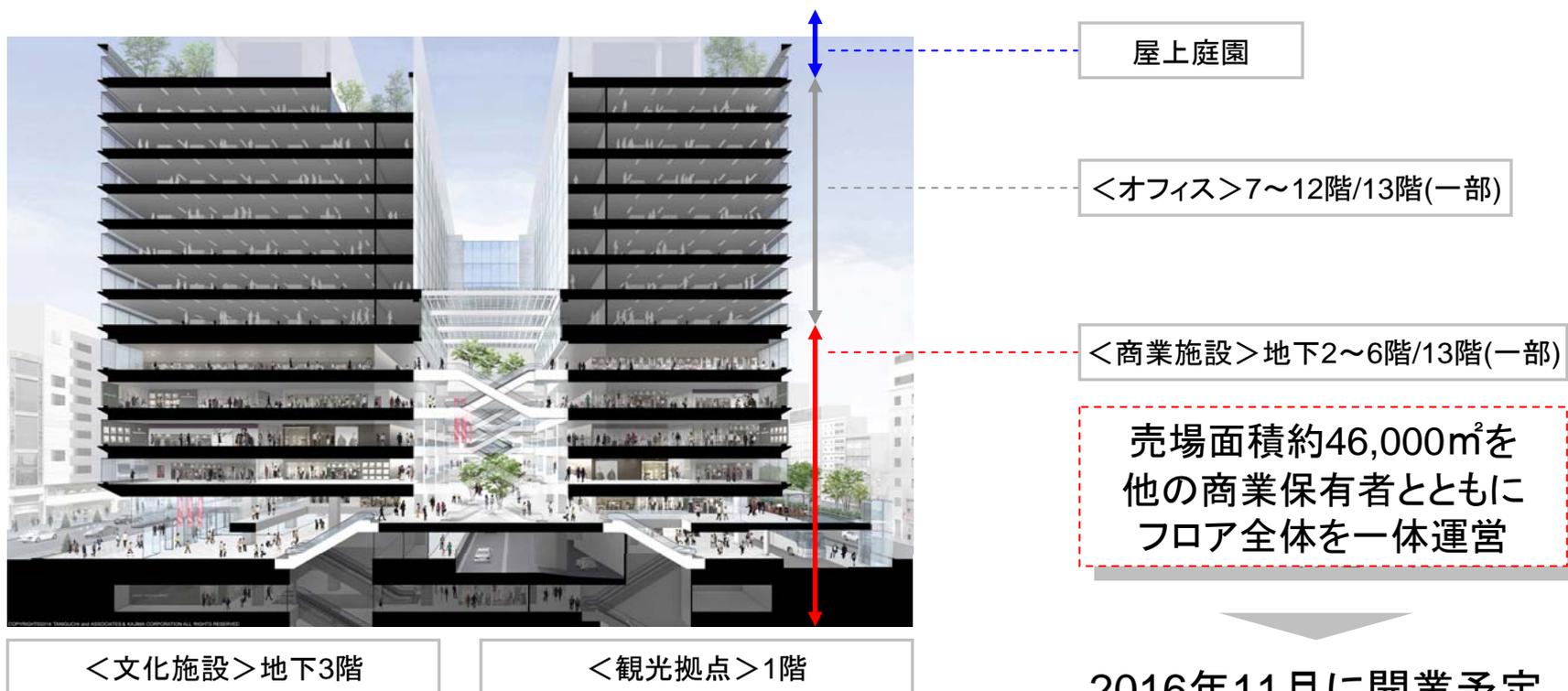
2016年度 免税売上目標 200億円

「周辺店舗開発」ノウハウをさらに拡張し、グループの総合力を結集



銀座六丁目再開発

- ▶ 銀座六丁目にワールドクラスクオリティの商業施設を創造
- ▶ 商業施設やオフィス、文化施設、観光拠点なども備えた大規模複合施設を開発
- ▶ 9月に「商業施設開発準備室」を開設し、出店を希望されるテナント募集開始



施設の地下1階から屋上までを示した断面図(今後変更になる場合があります)

2016年11月に開業予定

- ▶ 上野店南館建替えで地域に新たな賑わい創出
- ▶ 店舗周辺地区の再開発も併せて行うことで、新たな街に求められる機能を提案
- ▶ 地元と一体で地域の活性化に貢献し、地域と共に成長するビジネスモデル構築



【延床面積】 約42,000㎡

【階別構成】

地下1階 : 大丸松坂屋百貨店食品フロア

1～6階 : パルコ

7～10階 : シネマコンプレックス

12～22階 : オフィス

【総事業額】 約200億円

(松坂屋上野店本館改装関連工事を含む)

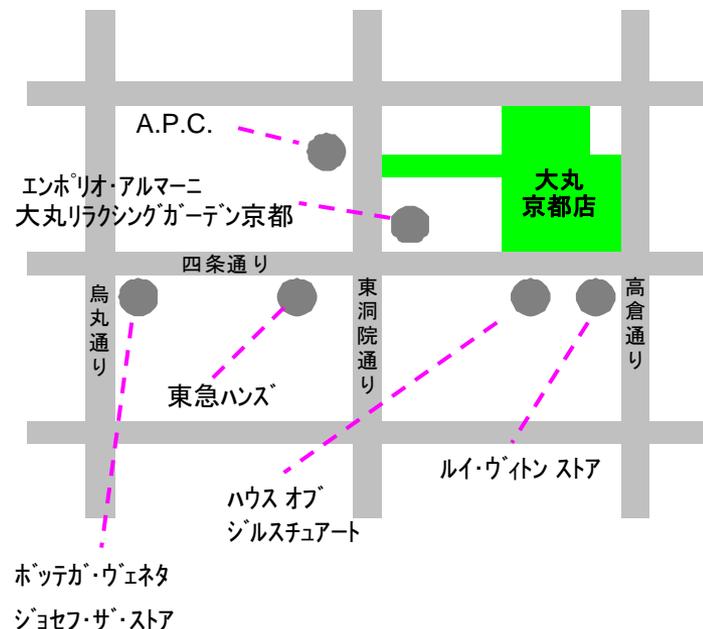
2017年秋に開業を予定

大丸京都店の取り組み

- ▶ 周辺店舗として「東急ハンズ」を新たに出店し(6月)、新たな顧客層を開拓
- ▶ 半世紀ぶりに外装リニューアル、街並に調和した烏丸のランドマークに(10月)
- ▶ 今後もエリアに不足する商品・サービスを補完し、烏丸エリア全体の魅力を向上



(京都店が展開する周辺店舗)

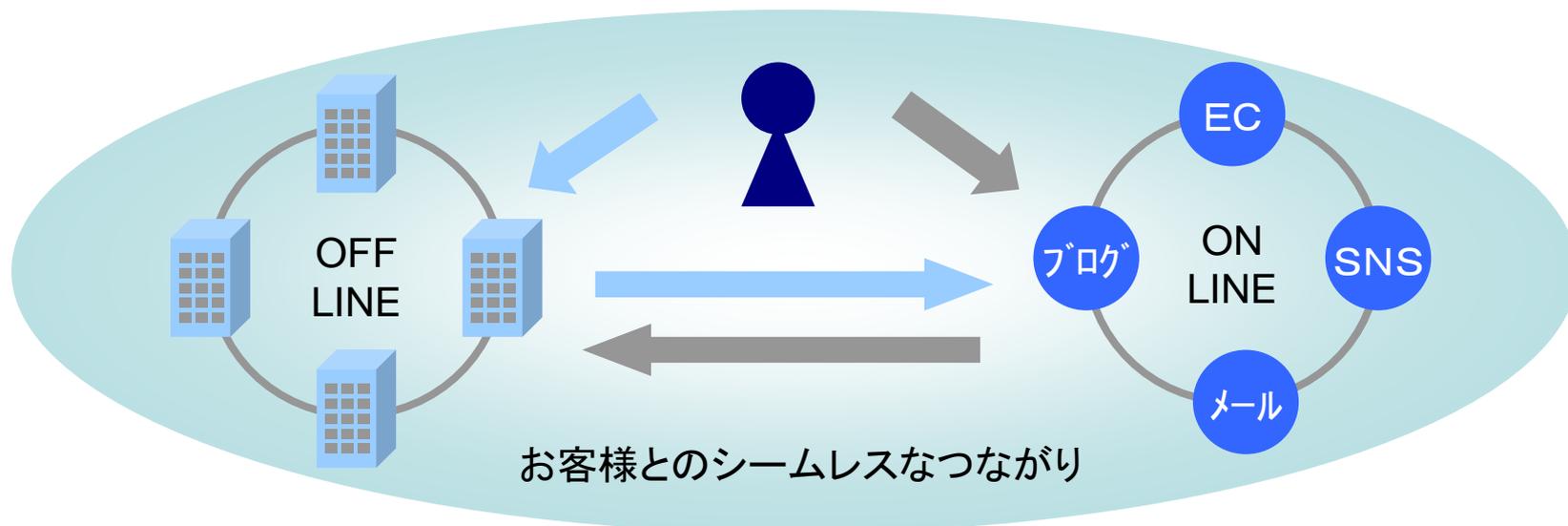


名古屋店の取り組み

- ▶ 今後、北館・南館のあり方を抜本的に見直し、新たなカテゴリー導入検討
- ▶ 名古屋ゼロゲート、名古屋パルコ新ビル出店などエリアのグループ資産が拡充
- ▶ 幅広い顧客層にとって魅力のある栄エリアを構築し、地域とともに成長



当社独自のオムニチャネルモデル構築に向けた取り組み強化



新たに『百貨店オムニチャネルリテイリング推進担当』設置

組織力強化により取り組み推進をさらに加速

クリック&コレクト

- ・14年度下期中にお取引先数を10社に拡大
- ・お届け・支払い方法の選択肢を拡大
- ・今後、アイテムを洋品雑貨にも拡大

美術品オークション

- ・絵画だけでなく、工芸品など品揃えの幅を拡大
- ・「入札会」の店頭連動店舗の拡大

DAIMARU CARD. マツカヤカード決済で送料無料でポイントをお付けいたします。

DAIMARU Matsuzakaya

ART AUCTION 大丸松坂屋 ネット・デ・オークション

楽天オークション出店記念
アート ネット・デ・オークション
10/1(木)~14(火)
※開業は10月7日(火)、14日(火)各日18時

WEB限定

絵画から工芸品まで出品。国指定重要無形文化財に認定された陶芸家の作品を集めた「人間国宝陶芸特集」も開催。

人間国宝 陶芸特集

地理的・歴史的背景によって、産地ごとに発展を遂げてきた日本の陶芸。伝統的な技能を高度に体得し、芸術性が高い作品を評価された歴代の「重要無形文化財保持者(人間国宝)」の作品をご紹介します。

人間国宝 陶芸特集作品一覧はこちら

大丸松坂屋ファッション通販 クリック&コレクト

SITE RENEWAL 新たに8ブランド登場!

LAUTRÉAMONT INÈD
laf... ef-dé
Ici et la LE SOUK
Droite 7-1Dconcept

Novelty Fair
LAUTRÉAMONT Droite laf... Ici et la

TEND TIPS Mimollet Skirt
2014 COLLECTION Autumn
Feature in magazine

INÈD ef-dé LE SOUK
NEW OPEN INÈD NEW OPEN ef-dé NEW OPEN LE SOUK

7-1Dconcept
NEW OPEN 7-1Dconcept. UNTITLED 大人が選ぶ洗練のジュエル plus カジュアルで! で行こう!

INDIVI
こなれた大人に似合う秋コレクション

RANKING 現在のランキング

上海新世界大丸百貨



中国屈指の高級百貨店とするため
当社が支援・協力

2015年開業予定

海外での店づくり・店舗運営ノウハウ蓄積
今後の海外事業展開に活用

PLAZA TOKYO



2014年度中に7号店まで展開

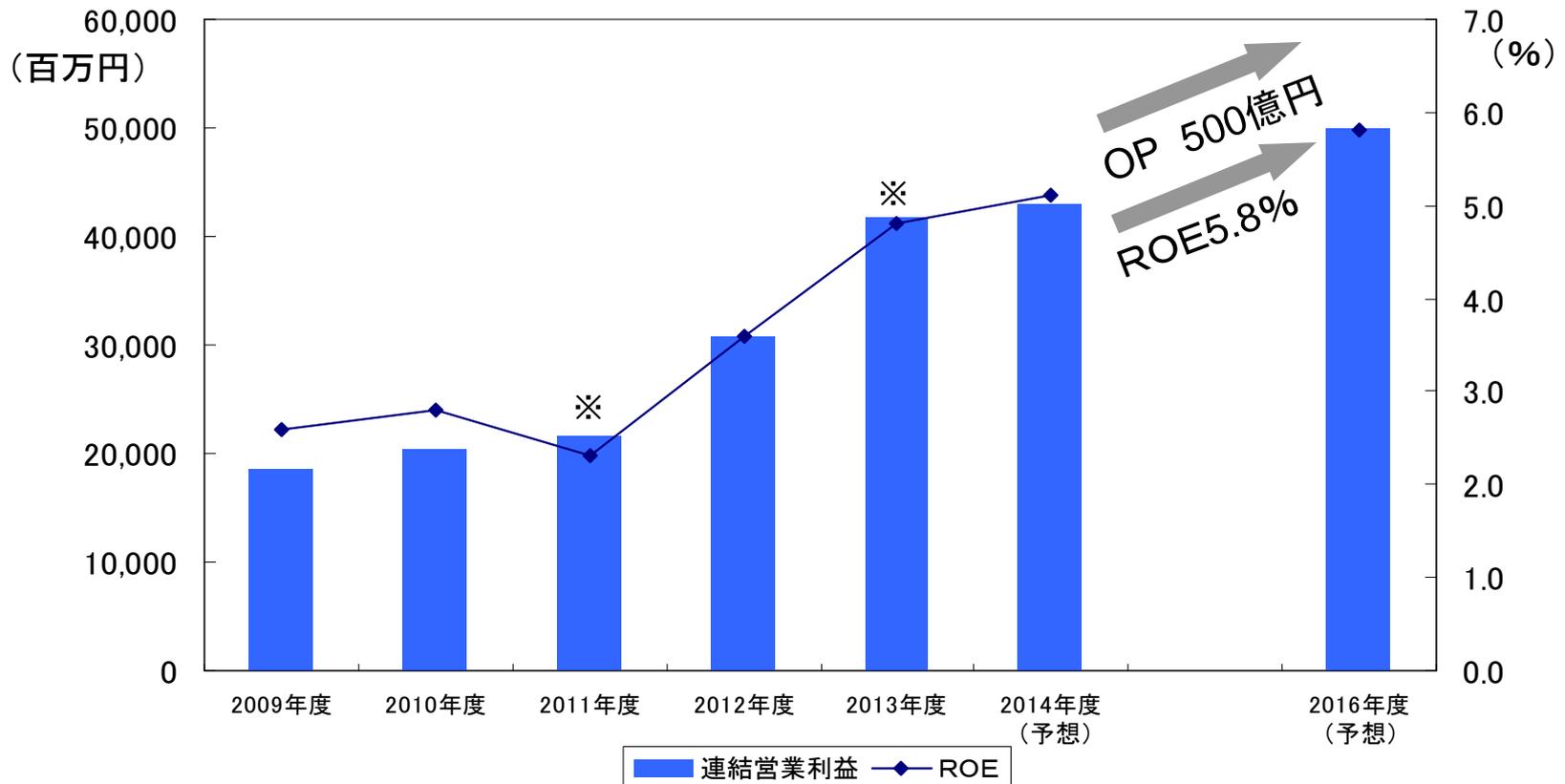
2016年度中に16店舗に

将来的にはアセアン大都市圏に拡大30

計画最終年度の2016年度の目標

連結営業利益 500億円

ROE 5.8%



※2011年度と2013年度のROEは特殊要因を除いた実質ベースで表示

Website

<http://www.j-front-retailing.com>

facebook

<http://www.facebook.com/J.FrontRetailing>



J. FRONT RETAILING

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。